

# IBM InfoSphere Optim Query Workload Tuner for DB2 for Linux, UNIX, and Windows



バージョン 3.1.1

## クイック・スタート・ガイド

本書は、標準的なインストールを開始するためのガイドです。

### 製品の概要

IBM® InfoSphere® Optim™ Query Workload Tuner for DB2® for Linux, UNIX, and Windows は、DB2 for Linux, UNIX, and Windows で実行される照会ワークロードおよび単一 SQL ステートメントのための高度なチューニング機能を提供します。

### 1 ステップ 1: ソフトウェアおよび資料にアクセスする



この製品のオフリングには次のものが含まれます。

- IBM InfoSphere Optim Query Workload Tuner for DB2 for Linux, UNIX, and Windows V3.1.1.0 - Windows オペレーティング・システム上で実行するクライアント・ワークステーション用の DVD
- IBM InfoSphere Optim Query Workload Tuner for DB2 for Linux, UNIX, and Windows V3.1.1.0 - Linux オペレーティング・システム上で実行するクライアント・ワークステーション用の DVD
- IBM InfoSphere Optim Query Workload Tuner for DB2 for Linux, UNIX, and Windows V3.1.1.0 - マルチプラットフォームのクイック・スタート・ガイドの CD

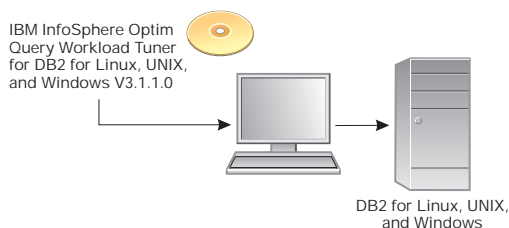
### 2 ステップ 2: 基本的なアーキテクチャを確認する



製品 DVD および IBM パスポート・アドバンテージからダウンロードできるパッケージのどちらにも、次のものが含まれています。

- IBM Data Studio フル・クライアント、バージョン 3.1.1。SQL ステートメントと照会ワークロードのチューニング時に使用するクライアント・ソフトウェアです。
- IBM InfoSphere Optim Query Workload Tuner for DB2 for Linux, UNIX, and Windows License Activation Kit V3.1.1.0

DB2 for Linux, UNIX, and Windows 上で実行される SQL ステートメントと照会ワークロードをチューニングするときに使用する予定のワークステーションに、これらのコンポーネントを両方インストールしてください。製品 DVD には両方のコンポーネントが含まれています。



IBM Data Studio フル・クライアントのバージョン 3.1.1 を使用して DB2 for Linux, UNIX, and Windows データベースに接続し、そのデータベースをチューニング・アクティビティーのために構成しようとする、クライアントは、InfoSphere Optim Query Workload Tuner のライセンスがそのデータベース上でアクティブになっているかどうかを検出します。アクティブなライセンスがない場合、クライアントはワークステーションにライセンス・アクティベーション・キットがインストールされているかどうかを確認します。

このライセンス・アクティベーション・キットがインストールされている場合は、クライアントはデータベース上で InfoSphere Optim Query Workload Tuner のライセンスをアクティブにします。その時点から、バージョン 3.1.1 の IBM Data Studio フル・クライアントまたは管理クライアントからデータベースに接続するどのユーザーも、InfoSphere Optim Query Workload Tuner のチューニング機能をすべて使用できるようになります。

一方、ワークステーションにライセンス・アクティベーション・キットがインストールされていない場合は、クライアントがデータベースでライセンスをアクティブにすることはできません。Data Studio クライアントを介してデータベースに接続するユーザーが、そのデータベースで実行される SQL ステートメントをチューニングするために使用できるのは、無料のチューニング機能だけになります。無料のチューニング機能は、InfoSphere Optim Query Workload Tuner の機能のサブセットです。

### 3 ステップ 3: ハードウェアおよびシステム構成を評価する



InfoSphere Optim Query Workload Tuner のシステム要件に関する詳しい資料は、次を参照してください。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27024147>

### 4 ステップ 4: ワークステーションにソフトウェアをインストールする



1. 製品 DVD、または IBM パスポート・アドバンテージからダウンロードした圧縮ファイルから解凍したコンテンツで、ご使用のオペレーティング・システム用のファイルをダブルクリックします。(Windows Vista または Windows 7 システムで管理インストールを行う場合は、このファイルを管理者として実行する必要があります。)
  - 32 ビット版の Windows オペレーティング・システムの場合: setup.exe
  - 64 ビット版の Windows オペレーティング・システムの場合: setup64.exe
  - Linux オペレーティング・システムの場合: setup
2. ランチパッドで、「製品のインストール」を選択し、実行するインストールのタイプを選択します。
3. ウィザードの「パッケージの選択」ページで、両方のパッケージを選択します。
4. 「パッケージのインストール」ページで、次のように適切なパッケージ・グループを指定します。
  - InfoSphere Optim Query Tuner クライアント、バージョン 3.1 または IBM Data Studio フル・クライアント、バージョン 3.1 がすでにインストール済みで、IBM Data Studio フル・クライアント、バージョン 3.1.1 にアップグレードする場合は、置き換える製品が表示されているパッケージ・グループを選択します。ウィザードは、その製品をアンインストールしてから、IBM Data Studio フル・クライアント、バージョン 3.1.1 をインストールします。InfoSphere Optim Query Tuner クライアント、バージョン 3.1 と IBM Data Studio フル・クライアント、バージョン 3.1 が、別々のパッケージ・グループになっている場合もあれば、同じパッケージ・グループになっている場合もあります。別々のパッケージ・グループにある場合は、どちらか 1 つのパッケージ・グループを選択してください。選択しなかったもう片方のパッケージ・グループにあるクライアントは、ウィザードによってアンインストールされません。
  - InfoSphere Optim Query Tuner クライアント、バージョン 3.1 も IBM Data Studio フル・クライアント、バージョン 3.1 もインストールされていない場合は、新しいパッケージ・グループを作成します。
5. ウィザードの残りのステップを完了します。

### 5 ステップ 5: データベースを構成して製品ライセンスをアクティブにする



Data Studio フル・クライアントをインストールしたら、ワークステーションからチューニング・タスクを実行できるように、Data Studio フル・クライアントを使用して製品ライセンスをアクティブにして、DB2 for Linux, UNIX, and Windows データベースを構成する必要があります。

DB2 for Linux, UNIX, and Windows バージョン 9.7 (すべてのフィックスパック・レベル) を使用している場合、DB2 コマンド行から db2updv97 コマンドを実行する必要があります (まだ実行していない場合)。このコマンドに関する情報は、以下を参照してください。

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/db2luw/v9r7/topic/com.ibm.db2.luw.admin.cmd.doc/doc/r0054449.html>

データベースを構成するには、次のステップを実行してください。

1. Data Studio フル・クライアントでデータ・ソース・エクスプローラーに移動してデータベースに接続します。
2. 接続を展開し、データベースを右クリックし、「分析とチューニング」>「チューニング用に構成」>「ガイド付き構成」を選択します。ライセンスのアクティベーションと構成が成功したかどうかメッセージが表示されます。

構成の問題を解決する必要がある場合は、データベースを右クリックして、「分析とチューニング」>「チューニング用に構成」>「拡張構成および特権管理」を選択します。

### 6 ステップ 6: SQL ステートメントと照会ワークロードのチューニングを開始する



IBM Data Studio フル・クライアントまたは管理クライアントのデータ・ソース・エクスプローラーで、データベースを右クリックし、「分析とチューニング」>「チューニングの開始」を選択します。

### インストールと構成の説明を参照する



インストールと構成のすべてのオプションに関する説明は、以下を参照してください。

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/dstudio/v3r1/topic/com.ibm.datatools.qrytune.installconfig.doc/topics/installconfig.html>

### 追加情報



詳しくは、以下の、この製品の情報ロードマップを参照してください。

[http://www.ibm.com/developerworks/data/roadmaps/roadmap\\_ioqt\\_ioqwt\\_311.html](http://www.ibm.com/developerworks/data/roadmaps/roadmap_ioqt_ioqwt_311.html)

IBM InfoSphere Optim Query Workload Tuner Version 3.1.1 Licensed Materials - Property of IBM. © Copyright IBM Corp. 2012. All Rights Reserved. IBM, IBM ロゴ、AIX®、DB2、および Passport Advantage® は、International Business Machines Corp. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

部品番号: CI657ML

